

## その一言！

住職 福島伸悦

八十五歳の知り合いの男性が、デイサービスに週一度通っています。ある日、迎いの車に乗ると車椅子の九十歳の男性が話しかけてきました。「あなたは、独りで歩けるからいいですね。私はこんな状態なので息子夫婦にお世話になっています。そして週二回デイサービスに行くのですが、先日息子が、もう一回増やしたらどうですか？と言ってきたので、そんなに俺が邪魔なのか！と罵声を発してしまいました。言ってしまった後、後悔したのですが、後の祭りです。なんとも気まずい雰囲気になってしまいました。」と吐露しました。思い通りにならない自分の体にイライラして発した言葉だとは思いますが、息子さん夫婦に対しての配慮がなかったかとは思いますが、しかし、悪いことをしたと反省する姿勢があることはまだ救われます。親子関係の修復も出来るということです。

誰もが認める少子高齢社会では他人ごとではありません。私たちは至らない自分に気づき、反省して前を向いて生きることはとても大切なことです。自分のわがままな欲望に振り回されるのではなく、「今」の自己のありようを凝視して生きることに集中して、いかに努力することができるかが仏様の理想の生き方だと思います。